



Hewlett Packard
Enterprise

Intelligent Provisioning 3.10 リリースノ ート

部品番号: 881705-192
発行: 2018 年 2 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

目次

リリースノート.....	4
説明.....	4
バージョン.....	4
置換.....	4
製品モデル.....	4
オペレーティングシステムおよびデバイス.....	4
機能強化.....	9
修正点.....	9
Intelligent Provisioning、SPP、および iLO の間の関係.....	9
インストール手順.....	9
既知の問題と推奨処置.....	10
インストールの問題.....	10
操作上の問題.....	12
ユーザーインターフェイスの問題.....	16
Windows 固有の問題.....	18
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	19

リリースノート

説明

Intelligent Provisioning は、オペレーティングシステムをインストールする、単一サーバー展開ツールです。すべての ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy コンピュートモジュールに内蔵されています。Intelligent Provisioning は、ウィザード形式でオペレーティングシステムに必要なほとんどのドライバーを提供します。

Intelligent Provisioning は、前の世代の ProLiant サーバーで使用されていた SmartStart CD および Smart Update Firmware DVD に代わる機能で、これらの CD/DVD をベースにして改善が加えられています。

Intelligent Provisioning では、以下の世代および関連バージョンをサポートしています。

- Gen8 : 1.x バージョン
- Gen9 : 2.x バージョン
- Gen10 : 3.x バージョン

このドキュメントでは、サポート情報、拡張機能、および既知の問題と解決方法など、このリリースの Intelligent Provisioning に関する情報を提供します。特定の問題の解決方法については、Intelligent Provisioning ユーザーガイドのトラブルシューティングの章を参照してください。

Intelligent Provisioning のユーザードキュメントは、Information Library (<http://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs>) から入手できます。

バージョン

3.10

置換

3.00

製品モデル

Intelligent Provisioning の現在のリリースでは、ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy コンピュートモジュールをサポートしています。サポートされているサーバーの完全なリストについては、*Intelligent Provisioning Server Support Guide* を参照してください。

オペレーティングシステムおよびデバイス

Intelligent Provisioning では、次のオペレーティングシステムをインストールできます。

- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Red Hat Enterprise Linux 7.4
- Red Hat Enterprise Linux 7.3
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2

- vSphere 6.0 Update 3、6.5、6.5 Update 1
- ClearOS

注記:

Gen10 サーバーでは、ClearOS は <http://www.hpe.com/servers/clearos> からのダウンロードに利用できません。

OS 別にサポートされるモードおよびインストールタイプ

OS	サポートされるモード			インストールタイプ	
	UEFI	レガシー	セキュアブート	自動	手動
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、Hyper-V、および Essentials	X	X	X	X	X
Windows Server 2016 RS3 Standard Core および Datacenter	X	X	X	X	X
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、Foundation、および Hyper-V、Essentials	X	X	X	X	X
Red Hat Enterprise Linux 7.4 64 ビット	X	X	該当なし	X	X
Red Hat Enterprise Linux 7.3 64 ビット	X	X	該当なし	X	X
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 64 ビット	X	該当なし	該当なし	X	X
SUSE Linux Enterprise Server 12.2 64 ビット	X	該当なし	該当なし	X	X
vSphere 6.0 Update 3	X	X	該当なし	X	X
vSphere 6.5	X	X	該当なし	X	X
vSphere 6.5 Update 1	X	X	該当なし	X	X
ClearOS	X	該当なし	該当なし	該当なし	X

注記:

Windows Essentials では、Intelligent Provisioning によるネットワークインストールはサポートされていません。

Intelligent Provisioning での使用がサポートされているソースメディアのタイプは、次のとおりです。

DVD インストール方式

OS	自動	手動
Windows Server 2016 RS3 Standard および Datacenter	X	X
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V	X	X
Windows Server 2016 Essentials	X	X
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、Hyper-V、Foundation、および Essentials	X	X
Red Hat Enterprise Linux 7.4 64 ビット	X	X
Red Hat Enterprise Linux 7.3 64 ビット	X	X
SUSE Linux Enterprise Server 12.2 64 ビット	X	X
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 64 ビット	X	X
vSphere 6.0 Update 3	X	X
vSphere 6.5	X	X
vSphere 6.5 Update 1	X	X
ClearOS	X	X

Common Internet File System (CIFS) のインストール方法

OS	自動	手動
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V	X	該当なし
Windows Server 2016 RS3 Standard および Datacenter	X	該当なし
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、Foundation、および Hyper-V	X	該当なし

表は続く

OS	自動	手動
Red Hat Enterprise Linux 7.3 64 ビット	該当なし	該当なし
Red Hat Enterprise Linux 7.3 64 ビット	該当なし	該当なし
SUSE Linux Enterprise Server 12.2 64 ビット	X	該当なし
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 64 ビット	X	該当なし
vSphere 6.0 Update 3	X	該当なし
vSphere 6.5	X	該当なし
vSphere 6.5 Update 1	X	該当なし

FTP インストール方式

注記:

FTP インストールする前に、ISO の内容を展開します。

OS	自動	手動
Red Hat Enterprise Linux 7.4 64 ビット	X	該当なし
Red Hat Enterprise Linux 7.3 64 ビット	X	該当なし
vSphere 6.0 Update 3	X	該当なし
vSphere 6.5	X	該当なし
vSphere 6.5, Update 1	X	該当なし

USB インストール方式

OS	自動	手動
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V	X	該当なし
Windows Server 2016 RS3 Standard および Datacenter	該当なし	該当なし

表は続く

OS	自動	手動
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、および Hyper-V	X	該当なし
Windows Server 2012 R2 Essentials	X	該当なし
vSphere 6.0 Update 3	X	該当なし
vSphere 6.5	X	該当なし
vSphere 6.5 Update 1	X	該当なし

Always On Intelligent Provisioning

OS	サポートされるソースメディア	サポートされるモード			インストールタイプ	
		UEFI	レガシー	セキュアブート	自動	手動
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V	CIFS	X	X	X	X	該当なし
Windows Server 2016 RS3 Standard および Datacenter	CIFS	X	X	X	X	該当なし
Windows Server 2012 R2、Standard、Datacenter、Foundation、および Hyper-V	CIFS	X	X	X	X	該当なし
Red Hat Enterprise Linux 7.4 x64 ビット	FTP	X	X	該当なし	X	該当なし
Red Hat Enterprise Linux 7.3 x64 ビット	FTP	X	X	該当なし	X	該当なし
SUSE Linux Enterprise Server 12.2 64 ビット	CIFS	X	X	該当なし	X	該当なし
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 64 ビット	CIFS	X	X	該当なし	X	該当なし
vSphere 6.0 Update 3	CIFS/FTP	X	X	該当なし	X	該当なし
vSphere 6.5	CIFS/FTP	X	X	該当なし	X	該当なし
vSphere 6.5 Update 1	CIFS/FTP	X	X	該当なし	X	該当なし

StoreVirtual VSA のサポート

Intelligent Provisioning 3.00 以降は StoreVirtual VSA をサポートしません。

最寄りのミラーサーバーからインターネット方式

OS	推奨	カスタム	手動
ClearOS	X	該当なし	該当なし
注記: ClearOS が推奨されるインストールを使用している場合、唯一の方法は Internet from nearest mirror server ソースメディアを使用してインストールする方法です。 その他のオペレーティングシステムはすべて、 Internet from nearest mirror server ソースメディアを使用してインストールすることはできません。			

サポートされるサーバー、ファームウェア、ソフトウェア、およびドライバーバージョンについては、Intelligent Provisioning Information Library (<http://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs>) で入手できる Intelligent Provisioning Server Support Guide を参照してください。

機能強化

ProLiant Gen10 サーバーへの ClearOS インストールのサポート

修正点

診断でメモリエラーが正しく表示されない場合があったり、診断が正しく動作しない問題を修正しました。

Intelligent Provisioning、SPP、および iLO の間の関係

Intelligent Provisioning のバージョン	SPP リリースセット	iLO のバージョン
Intelligent Provisioning 3.10	SPP v2018.03.0	iLO 5, v1.20

インストール手順

ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy コンピュートモジュールには、ファームウェアコンポーネントとオペレーティングシステムコンポーネントがプリロードされています。これらのコンポーネントは、Intelligent Provisioning を使ってインストールします。一旦サーバーを稼働させた後は、Intelligent Provisioning のファームウェアの更新を使用して、サーバーを製造してからすでに古くなったコンポーネントをアップデートしてください。

注記:

ファームウェア更新を使用する場合は、コンポーネントのインストールされているバージョンが利用可能なバージョンより新しいことを確認してください。

アップデート方法については、Intelligent Provisioning ユーザーガイドを参照してください。Intelligent Provisioning の Web サイト (<http://www.hpe.com/servers/intelligentprovisioning>) から最新の Intelligent Provisioning の ISO をダウンロードできます。

既知の問題と推奨処置

このドキュメントに記載されている解決方法を適用することをおすすめします。誤った操作を行うと、ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy コンピュートモジュールの操作と機能が正常に動作しなくなることがあります。

以下のリストは、新しい問題が発見されるか、既知の問題が解決されると更新されます。

- [インストールの問題](#)(10 ページ)
- [操作上の問題](#)(12 ページ)
- [ユーザーインターフェイスの問題](#)(16 ページ)
- [Windows 固有の問題](#)(18 ページ)

インストールの問題

FIPS または高セキュリティモードでアップデートできない

症状

FIPS または高セキュリティモードで Intelligent Provisioning をアップデートすると、点滅エラーが発生する。

原因

高セキュリティモードは現在サポートされていません。

レガシー BIOS モードの自動インストールがタイムアウトする

症状

レガシー BIOS モードで自動インストールが完了しない。

原因

HDD がブート順序で最初の選択肢になっていません。

アクション

1. プレインストールが完了したら、**再起動** をクリックし、iLO にログオンします。
2. ナビゲーションペインで**管理** を選択します。
3. **ブート順序 > サーバースタート順序** を選択し、HDD をブート順序の先頭に設定します。
4. **適用** をクリックします。

オペレーティングシステムはハードディスクドライブから起動し、自動インストールが通常どおり進行します。

マルチコントローラーセットアップでオペレーティングシステムをインストールできない

症状

Intelligent Provisioning をインストールし、以下の手順（例のみ）の実行後、インストールが終了しません。

1. BIOS/プラットフォームの構成（RBSU）でコントローラーを有効にする。
2. **F10** をクリックして、初期セットアップウィザードで手順を実行する。
3. **メンテナンスの実行 > RAID 構成** を選択し、サーバー内の他のコントローラーの論理ドライブを作成する。
4. 他のコントローラーを選択して、Windows のインストールを進める。
5. サーバーを再起動すると、インストールプロセスが停止し次のメッセージが表示される。

Set up was unable to create a new partition or locate an existing system partition. (セットアップでは、パーティションを新規作成できないか、既存のシステムパーティションが見つかりませんでした。) 詳細についてはセットアップのログファイルを参照してください。

原因

コントローラーに接続しているドライブに古い OS ファイルが存在します。

アクション

ドライブから古い OS ファイルを削除するには、Scripting Toolkit を使用します。詳しくは、*Scripting Toolkit ユーザーガイド* を参照してください。

Windows の手動インストールが期待どおりに動作しない

症状

Intelligent Provisioning 3.10 を使用して、Gen10 Smart Array コントローラーおよび S100i ソフトウェア RAID コントローラーに対して Windows がインストールされない。

アクション

1. 以下のいずれかを実行します。

- アシストモードを使用して OS をインストールします。
- SATA コントローラーに対しては、Windows の手動インストールを実行します。

操作上の問題

Intelligent Provisioning 環境設定にタイムゾーンの変更が表示されない

症状

UEFI システムユーティリティを使用したシステム BIOS のタイムゾーンの詳細の変更が、Intelligent Provisioning 環境設定に表示されない。

原因

UEFI システムユーティリティを使用してタイムゾーンの日付と時刻を設定すると、変更は、BIOS にのみ適用され、OS または iLO には適用されません。

BIOS、OS、および iLO のタイムゾーンの日付と時刻を設定するには、UEFI システムユーティリティではなく、Intelligent Provisioning 環境設定を使用します。

アクション

1. **メンテナンスの実行 > Intelligent Provisioning 環境設定**の順に選択します。
2. 表示されている日付または時刻をクリックします。
3. 表示されているカレンダーまたはクロックを使用して、新しい値を選択します。
4. タイムゾーンが初期セットアップ中に iLO で正しく設定されていない場合や、システム機能に影響を与える場合は、iLO Web インターフェイスでリセットします。

詳しくは、*Intelligent Provisioning ユーザーガイド* (HPE ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy 向け) を参照してください。

ファームウェアアップデートが応答を停止する場合がある

症状

アップデートが応答しなくなる場合がある。

原因

ファームウェアのジョブが中断されます。

アクション

1. Scripting Toolkit (STK) の RESTful インターフェイスツールを使用して iLOREST を実行するか、手動でタスクをクリアします。
2. REST データをリセットするには、以下のコマンドを実行します。このコマンドを実行すると、すべての BIOS と Intelligent Provisioning の設定とタスクがデフォルトにリセットされます。

```
ilorest clearrestapistate -u username -p password -url=xx.xx.xx.xx
```

ファームウェアアップデートユーティリティを使用するとき、カスタム URL オプションが期待どおりに動作しない

症状

ファームウェアアップデートユーティリティのカスタム URL オプションが期待どおりに動作しない。

アクション

アップデートを展開するには、**hpe.com** オプションを使用します。

システムがセキュア NAND 消去中に応答していないように見えることがある

症状

一部のマルチプロセッサシステムで、システムがセキュア NAND 消去中に応答していないように見えることがある。割り当てられている時間内プロセスは完了するが、インターフェイスで完了の表示が更新されない。

アクション

示された時間が経過したら、安全にシステムのプラグを抜いてリセットおよび再起動できます。次回 F10 を起動したとき、初期セットアップウィザードが表示され、プロセスが完了したことが示されます。

レガシー BIOS モードのいくつかのインストールで特定の手順が必要になる

サーバーブートモードがレガシー BIOS モードに設定されている場合、一部のオペレーティングシステムで特定のインストールが必要になります。

注記:

F10 から起動したバージョンの Intelligent Provisioning からレガシー BIOS モードの動作を変更できず、予期せずに起動することがあります。

レガシー BIOS モードの特定のインストール

- DVD からの VMware/Linux 自動 : UEFI システムユーティリティ (F9) またはワンタイムブートメニュー (F11) のいずれかを使用してハードディスクドライブから起動していることを確認してください。
- DVD からの手動 : 実際に DVD から起動していることを確認してください。

注記:

Windows インストールでは、Enter キーを押して DVD をバイパスし、インストールを開始する必要があります。

システムの消去およびリセットでブートモードがリセットされない

症状

すべての Intelligent Provisioning 環境設定をクリアした後、ブートモードがデフォルトの UEFI 最適化に設定されない。

原因

Intelligent Provisioning 環境設定をクリアしても、Intelligent Provisioning 設定しかリセットされません。

アクション

1. 手動でブートモードを UEFI 最適化ブートに設定します。
 - a. システムユーティリティ画面から、システム構成 > BIOS/プラットフォームの構成 (RBSU) > ブートオプション > UEFI 最適化ブートを選択します。
 - b. 有効を選択します。
 - c. 設定を保存します。
 - d. サーバーを再起動します。

ファームウェアアップデートで間違いが報告されない

症状

ファームウェアアップデートをクリックした後、ファームウェアが最新でない場合でも、Firmware is up to date というメッセージが表示される。

アクション

適切なネットワーク接続と有効な URL が入力されていることを確認します。

注記:

プライベートサーバーをセットアップしている場合、HPE ネットワークパスではなく、ファームウェアアップデートのネットワークパスを入力します。

iLO AHS ログと Intelligent Provisioning AHS ログのサイズが一致しない

症状

インストール後、iLO ページの AHS ログのサイズと Intelligent Provisioning の AHS ログユーティリティのログのサイズが一致しない。AHS ログユーティリティから得られたログのサイズが、iLO ページから収集されたログのサイズより小さい。

アクション

正しいログサイズの AHS ログは iLO ページから抽出してください。

AHS USB 選択リストが正しくない

症状

AHS ログファイルをダウンロードする方法を決定するときに、USB-SDD1 や USB-SDD2 などの正しくない USB の選択肢が表示される。

アクション

正しくない USB の選択肢を無視して、ダウンロードする USB キーを選択します。USB の選択肢は将来のリリースで修正されます。

PCIe デバイス構成オプションが正しく表示されない

症状

メンテナンスの実行 > BIOS 構成 (RBSU) > PCIe デバイス構成でオプションが正しく表示されない。代わりに、スロット名だけが表示されます。

アクション

メンテナンスの実行 > BIOS 構成 (RBSU) にアクセスすると、左ナビゲーションペインでオプションを使用できます。

システムソフトウェアアップデートデリバリオプションを入力していないのに次へボタンが有効になる

症状

初期セットアップウィザードで EULA を受け入れた後、システムソフトウェアアップデートでカスタム URL からアップデートを選択した場合、カスタム URL を入力せずに続行できる。

原因

次へボタンは有効であってはなりません。これは今後のリリースで修正される予定です。

アクション

カスタム URL からアップデートすることにした場合、ソフトウェアアップデートのダウンロード元の Web サイトを指定し、次へをクリックします。

UEFI モードが Intelligent Provisioning 環境設定に保存されない

症状

ブートモードを変更し、メンテナンスの実行 > Intelligent Provisioning 環境設定で発行をクリックしても、UEFI モードが保存されない。

原因

UEFI モードのステータスは、サーバーを再起動するまで変更されません。

アクション

1. サーバーを再起動します。
2. メンテナンスの実行 > Intelligent Provisioning 環境設定の順に選択し、UEFI モードを表示します。

Intelligent Provisioning 環境設定に NIC ポートが保存されない

症状

送信をクリックした後に、NIC ポートが Intelligent Provisioning 環境設定に保存されません。

原因

NIC ポートを保存するには、サーバーの再起動が必要です。

アクション

1. アップデートとインストール用のネットワークインターフェイスを選択してくださいで NIC ポートを選択します。
2. 送信をクリックします。
3. サーバーを再起動して、NIC ポートを保存します。

Ethernet ポートが不明なネットワークアダプターとしてリストされる

症状

HPE Ethernet 10 Gb 2 ポート 562SFP+、または 563i アダプターの Ethernet ポートのいずれかが、Intelligent Provisioning 環境設定ページで、Unknown network adapter（不明なネットワークアダプター）と表示される。

アクション

もう一方の有効なポートを使用します。複数のポートが必要な場合は、別のアダプターを使用します。

一部の NIC が不明なネットワークアダプターと表示される

症状

Intelligent Provisioning 環境設定 > アップデートとインストール用のネットワークインターフェイスを選択してくださいで一部の NIC が不明なネットワークアダプターと表示される。

原因

これは既知の問題であり、将来のリリースで修正されます。

管理者パスワードと電源オンパスワードの設定が期待どおりに動作しない

症状

Intelligent Provisioning の RBSU メニューからの管理者パスワードと電源オンパスワードの設定が、期待どおりに動作しない。

原因

これらのオプションは、このバージョンの Intelligent Provisioning から削除されました。

アクション

F9 RBSU メニューを使用して、これらのオプションを設定してください。

ユーザーインターフェイスの問題

ローカライズされた画面に英語の内容が含まれる

症状

ローカライズされた画面に英語の内容が含まれることがある。

アクション

処置は不要です。機能には影響しません。

特定の UI 項目は表示されるはずだが、欠落しているか正確でない

症状

メンテナンスの実行 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) の下で、以下の項目が欠落しているか正確でない。

- **サーバーセキュリティ > Trusted Platform Module オプション。** オプションの数が、UEFI システムユーティリティに示された数と同じではない。
- **電力およびパフォーマンス > I/O オプション。** 非ポストプリフェッチオプションが欠落している。
- **システムデフォルトオプション > デフォルトの UEFI デバイス優先順位。** 情報が表示されない。
- **ブートオプション。** レガシー BIOS ブート順序オプション上に取り消し線が表示される。メモリオプションの下で、メモリの再マップ情報が欠落している。

注記:

システムユーティリティ画面で、**システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション**を選択すると、メモリの再マップ情報を利用できます。

- **アドバンストオプション。** 余分なビデオオプションフィールドが表示される。ビデオオプションフィールドは、UEFI システムユーティリティでは表示されない。

原因

これらの UI 項目は既知の問題であり、将来のリリースで修正されます。

アクション

1. 欠落情報を表示するには、サーバーを再起動し、プロンプトが表示されたら、F9 キーを押して UEFI システムユーティリティにアクセスします。
2. システムユーティリティ画面で、**システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU)** を選択します。詳しくは、UEFI システムユーティリティユーザーガイドを参照してください。

Always On モードで MAC アドレスまたは接続ステータスが表示されない

症状

Intelligent Provisioning の Always On モードで、MAC アドレスまたは接続ステータスが表示されない。

アクション

Always On Intelligent Provisioning ではなく、F10 コンソールを使用してネットワークを構成します。

Windows 固有の問題

Windows をインストールできない

症状

Windows Server 2012 R2 または Windows Server 2016 のインストールがタイムアウトやその他のエラーになる。

原因

次の場合、Windows にインストールしようとするタイムアウトになる可能性があります。

1. RAID 1 として 2 台のドライブを構成していた。
2. Linux をインストールした。
3. ドライブを削除した。
4. 1 台のドライブを RAID 0 として構成したが、他のドライブを未割り当てのままにした。

アクション

Microsoft DiskPart ユーティリティを使用して古い Windows ファイルを削除して、パーティションをクリアします。詳しくは、*Scripting Toolkit for Windows User Guide* を参照してください。

Windows のインストール時に無人エラーメッセージが表示される

症状

Windows のインストール時に次のメッセージが表示される。

```
Windows could not parse or process unattended answer file [C:\Windows\filename  
\unattend.xml] for pass [specialize]. The answer file is invalid.
```

原因

使用しているメディアが、Windows のスリップストリームコピーです。

アクション

正式な Microsoft または HPE ブランドのメディアだけがサポートされています。

自動インストール後、サーバーで Agentless Management Service (AMS) が起動できない

症状

自動インストール方法を使用して Windows をインストールした後、ProLiant Gen10 で AMS が起動できない。

アクション

- AMS をインストールする前に、iLO 5 Channel Interface Driver をインストールします。
- Microsoft API「AddPdhCounter」の問題を解決したアップデートを含んだすべての Microsoft アップデートを適用します。AMSに必要な Microsoft アップデートについては、AMSのリリースノートを参照してください。

Windows の手動インストールで、コントローラーが検出されない

症状

Windows の手動インストールによって、手動インストール中の再起動後に S100i コントローラーが検出されません。

原因

Intelligent Provisioning は、仮想インストール ディスクをサポートしていません。

アクション

USB メディアからブートドライバーを手動でインストールしてください。

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。